

## 作品名 『誰も知らない輝き』

---

### 「佐呂間のアピールポイント」と「シャッターを切るに至った思い」

近頃、春が近づくとつれて日が長くなってきています。

最初私は、春が近づき日が沈む時間が長くなってきている瞬間を写真におさめようとしていましたが、いざカメラにその景色を映してみた時、私は「こんな景色なんて佐呂間に居れば誰にでも見れちゃうじゃん」と思いました。

そこで私は景色の見方を変えてみました。あえて、輝いている日の光を撮るのではなく、日の光で反射してきらきら輝いている雪を撮ってみました。

私も知らない佐呂間のアピールポイントはまだまだありますが、私たちが日々、当たり前のように見ている景色のなかにも、皆がなかなか気づくことのできない景色を自分自身で発見して、自分だけ知っていて誰も知らない景色を味わうことができることに、私は今回のフォトコンテストで気づかされました。

この写真は佐呂間でしか撮ることのできない、あの日、あの場所で、あの時間にしか撮ることができない奇跡の1枚だと思います。

